

## ○全体的な給与等のアップ、特に若手職員や非常勤職員の給与が改善

(各種給与等に関する条例の一部改正)

- ・行政職、医療職、技能職及び船舶職の給与月額アップ
- ・非常勤職員(会計年度任用職員)の給与月額、常勤職員の給与表をリアルタイムに反映
- ・一般職の職員及び再任用職員の期末手当・勤勉手当の支給割合アップ
- ・町長、副町長、教育長及び議員の期末手当の支給割合アップ

※令和5年4月に遡って適用され、差額は追加支給されます。

基本給の増額幅は若手ほど大きくなっています。また、常勤職員と時間差があった非常勤職員の給料も、常勤職員と一緒に上がります。人員確保やモチベーションアップにつながることを期待します。

## ○令和6年4月から、大島病院に産婦人科が開設(周東総合病院から週1回医師派遣)

(病院等事業の設置等に関する条例の一部改正)

- ・受診外来のみで、手術・入院は不可。
- ・周東総合病院で出産予定の場合や、健診に通えない病院での出産予定(里帰り出産など)の場合などに、大島病院で妊婦健診を受けることが可能に。
- ・子宮がん検診の受診が可能に。
- ・妊婦健診に必要な医療機器を購入するために、1,560万円を追加補正(企業債より)。5年間の減価償却を予定。

周防大島町の年間出生数は、ここ数年40名程度。不採算事業になることはわかっているが、周産期医療にかかる経費は一般会計から繰出し可能で、国の特別交付税や普通交付税を活用して運営する計画。

### 討論で出た議員の視点

- ・町外からの患者の増加が見込まれて、病院の利用増加につながる。
- ・将来的には産婦人科とセットの小児科の開設にも期待!
- ・柳井医療圏唯一の、周東総合病院の周産期医療体制を支援し、将来にわたり出産ができる環境を維持する目的も。
- ・始める前から不採算が見込まれているが、周知や受診満足度の向上を図り、維持運営をしていく覚悟を。
- ・もっと島の真ん中辺りにあった方が町民は使いやすいのでは。

子宮筋腫などの相談、ピルの処方、思春期の生理の相談、不妊治療、更年期に関する相談などにも対応してもらえるとありがたい。



知り合いに会うなど、人目が気になるかも…。

### 住民の声